

V 男女平等参画を推進する社会づくり

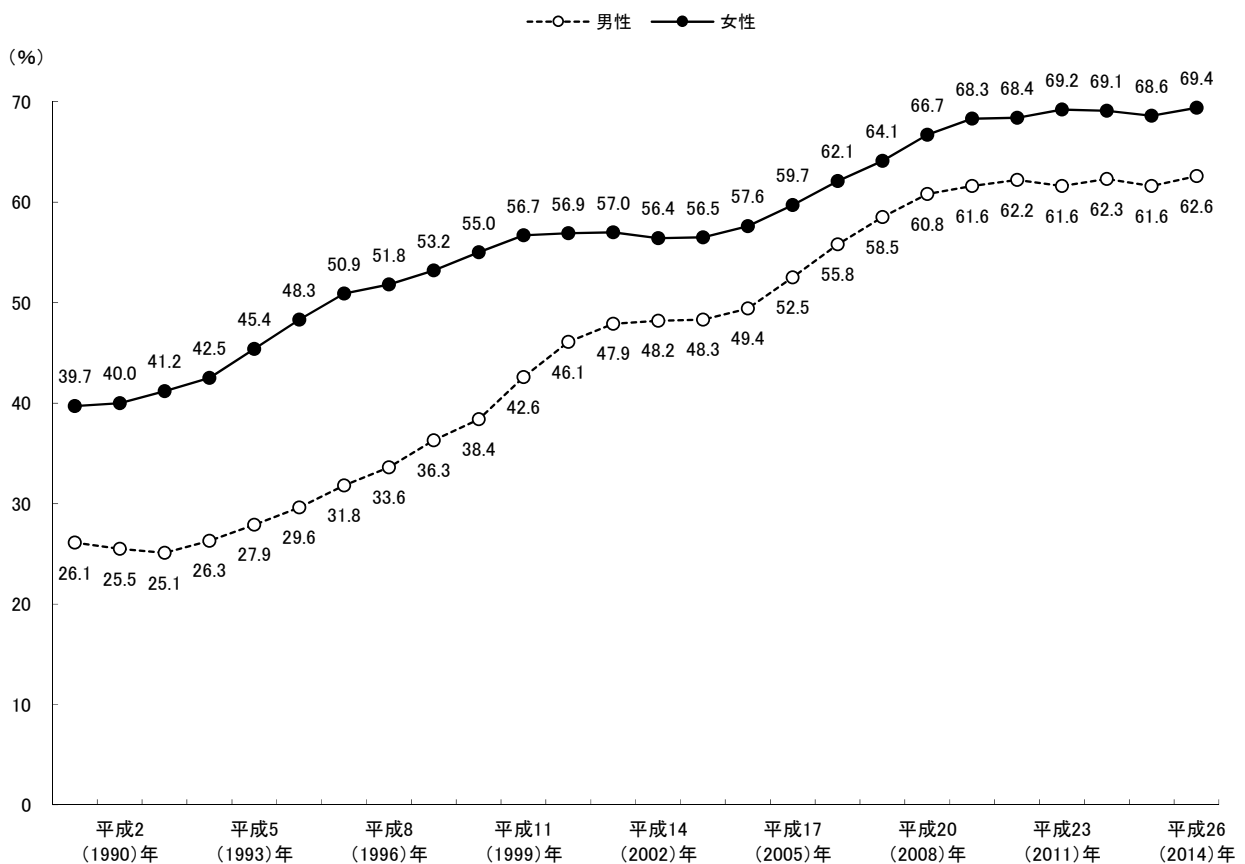
(1) 教育・学習の充実

V-1 教育・学習

1. 大学進学率の推移

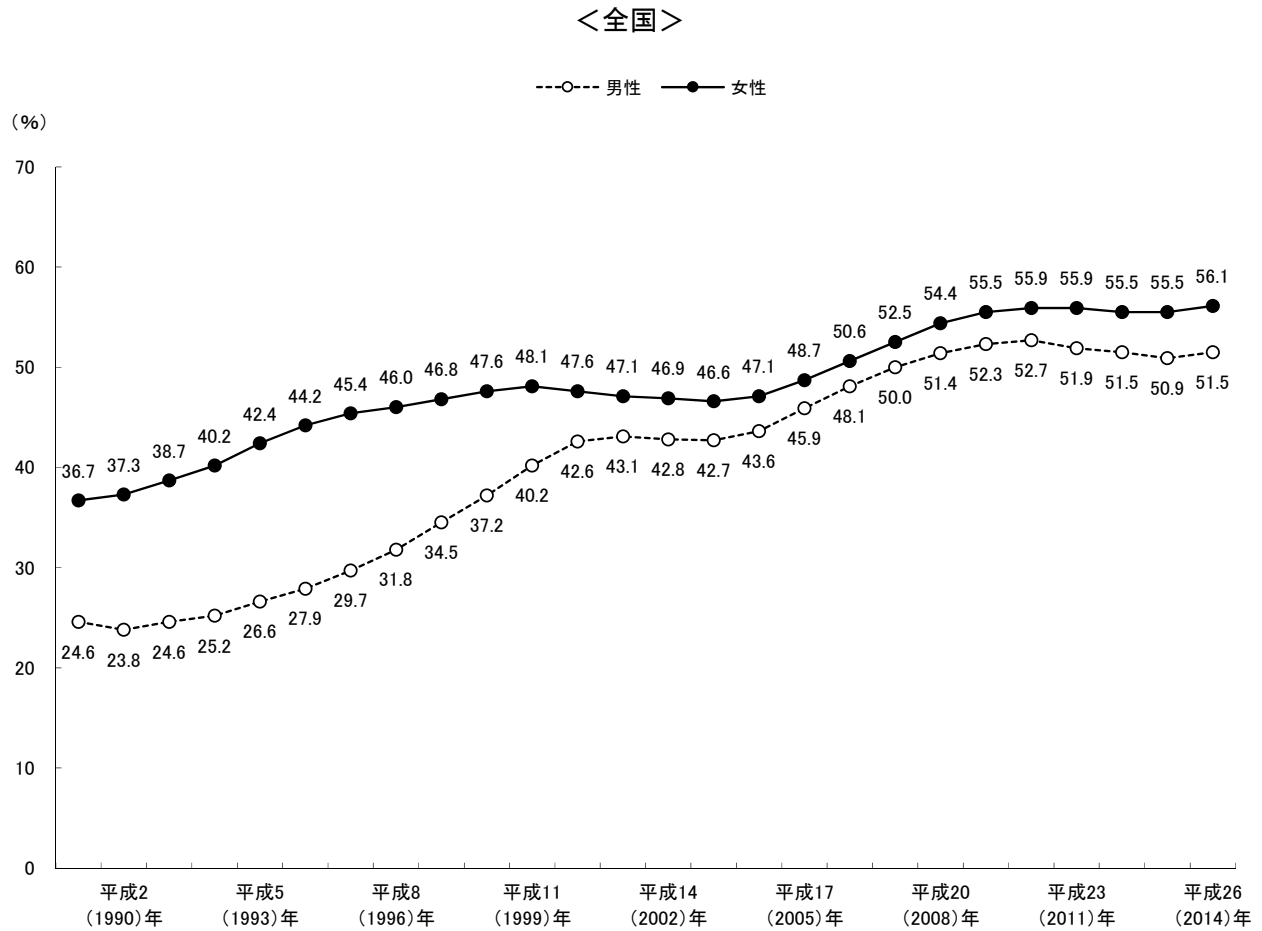
都・全国ともに女性の大学・短期大学への進学率は、一貫して男性の進学率を上回っている。都では、女性はほぼ一貫して増加傾向にあり、平成26(2014)年には69.4%となっている。男性は平成4(1992)年以降増加傾向となり、平成26(2014)年には62.6%となっている。全国も都と同様の傾向にあり、平成26(2014)年は女性が56.1%、男性が51.5%である。

図表V-1-1 大学(学部)・短期大学(本科)への進学率(過年度高卒者を含む)の推移(都・全国)  
 <都>



資料：東京都「平成26年度 学校基本調査」

## V 男女平等参画を推進する社会づくり

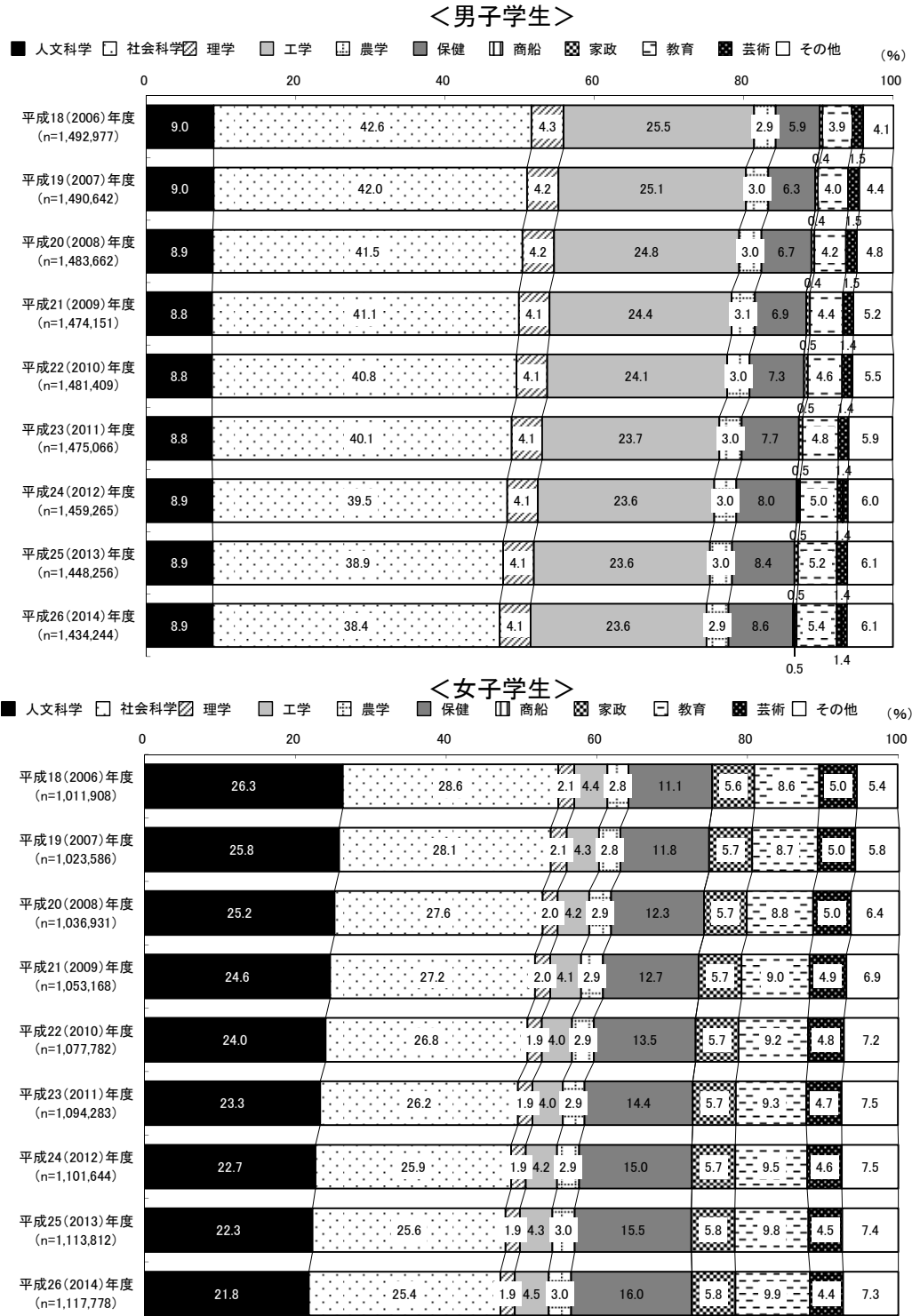


資料：文部科学省「学校基本調査 平成26年度」

2. 大学生の学部別構成

大学生の学部別構成比の推移をみると、男子学生では社会科学・工学が減少傾向にあり、保健・教育が増加傾向にある。平成26(2014)年度には、社会科学38.4%、工学23.6%、人文科学8.9%となっている。女子学生では保健・教育が増加傾向にあり、人文科学・社会科学が減少傾向にある。平成26(2014)年度には、社会科学25.4%、人文科学21.8%、保健16.0%となっている。

図表V-1-2 大学生の学部別構成比の推移(全国)



注：各年度5月1日現在

資料：文部科学省「学校基本調査」(平成26年度)